

二世帯住宅の 変遷にみる 親子の住まい方と 今後の展望

主催：旭化成ホームズ(株) 二世帯住宅研究所

「二世帯住宅」は、1975年に旭化成が住宅業界で初めて提案しました。親子同居は生活一体が当たり前だった時代に、生活空間を分けた独立性の高い住まいが支持され、次第に定着。近年では、共働き、子育て、在宅介護等に対応する親子協力ネットワークの器として、あるいは単身者も共に住む「2.5世帯住宅」のような集居のかたちとして多様な発展形が提案されています。また、シェアハウスや高齢者グループホームのような、他人が集まって住むかたちとの類似性も見られるようになりました。本シンポジウムでは、40周年の機会に「二世帯住宅」という住まいの発展経緯を振り返り、今後の展望についてパネルディスカッションを行います。

■ 司会

大月 敏雄

(東京大学 大学院 工学系研究科建築学専攻 教授)

■ パネリスト

篠原 聡子

(日本女子大学 家政学部住居学科 教授)

矢永 晶

(元・旭化成設計(株) 社長 二世帯住宅の開発者)

松本 吉彦

(旭化成ホームズ(株) 二世帯住宅研究所 所長)

■ コメンテーター

南後 由和

(明治大学 情報コミュニケーション学部 専任講師)

2015年

10月27日 火

18:00～20:20

エステック情報ビル 9階

旭化成ホームズ(株)内 ファミリーホール

東京都新宿区西新宿1-24-1

(新宿駅西口より徒歩 5分)

先着100名
参加費無料

10/22(木)締切

申込 方法

「氏名」「所属」を明記の上、旭化成ホームズ(株)二世帯住宅研究所宛にメールにてお申込みください。

* 申込時のメールタイトルは「二世帯住宅40周年記念シンポジウム申込」としてください。

* その他お問い合わせは、旭化成ホームズ(株)二世帯住宅研究所：井村までお願い致します。

nisetai@om.asahi-kasei.co.jp (TEL:03-3344-7045 / FAX:03-3344-7149)

二世帯住宅の変遷にみる 親子の住まい方と今後の展望



■ 司会 / パネリスト / コメンテーター 略歴

■ 司会

大月 敏雄 (おおつき としお)

東京大学 大学院 工学系研究科建築学専攻 教授

1991年 東京大学工学部建築学科卒業、1996年 同大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学。
1997年 横浜国立大学工学部建設学科助手、博士(工学)取得。
2003年 東京理科大学工学部建築学科 助教授を経て、2014年より現職。
主な著書に、『近居-少子高齢社会の住まい・地域再生にどう活かすか』(編著:学芸出版社)、
『2030年超高齢未来』(分担執筆:東洋経済新報社)、『集合住宅の時間』(王国社)など。



■ パネリスト

篠原 聡子 (しのはら さとこ)

日本女子大学 家政学部住居学科 教授

1981年 日本女子大学家政学部住居学科卒業、1983年 日本女子大学大学院修了。
1983年~1985年 香山アトリエ、1986年 空間研究所 設立。
2001年 日本女子大学家政学部住居学科 助教授を経て、2010年より現職。
2014年 シェアハウス『SHARE yaraicho』にて「日本建築学会賞(作品)」を受賞。
主な著書に、『多縁社会 自分で選んだ縁で生きていく。』(共著:東洋経済新報社)など。



矢永 晶 (やなが あきら)

元・旭化成設計(株) 社長 二世帯住宅の開発者

1964年 熊本大学工学部建築学科卒業、同年 旭化成工業(当時)入社。
1966年以降、住宅事業の創業期から一貫して住宅事業に携わり、ヘーベルハウスのプロトタイプを開発。
1973年 二世帯住宅の開発を提案、二世帯住宅の商品化(1975年)や二世帯住宅研究所設立(1980年)に携わる。
設計総括室 室長、旭化成ホームズ(株) 取締役、同社 監査役を経て、旭化成設計(株) 社長に就任。2005年 退社。
主な著書に、『高齢化社会の住宅』(共著:一粒社)など。現在、全日本美術協会 理事、日本美術家連盟会員。



松本 吉彦 (まつもと よしひこ)

旭化成ホームズ(株) 二世帯住宅研究所 所長

1983年 東京大学工学部建築学科卒業、同年 旭化成工業(当時)入社。
1996年 英国マンチェスター大学芸術学部都市計画・景観学科修士コース修了(MA)。
2003年~2004年 日本女子大学 非常勤講師、2013年~ 東京工業大学 非常勤講師。
主な著書に、『二世帯住宅という選択 実例に見る同居の家族』(平凡社)、『近居-少子高齢社会の住まい・地域再生に
どう活かすか』(共著:学芸出版社)など。



■ コメンテーター

南後 由和 (なんご よしかず)

明治大学 情報コミュニケーション学部 専任講師

2008年 東京大学大学院学際情報学府博士課程 単位取得退学。
2008年 東京大学大学院情報学環 助教を経て、2012年より現職。
2013年~ 日本建築学会 編集委員会 委員。
主な著書に、『建築の際』(編著:平凡社)、『文化人とは何か?』(共編著:東京書籍)、『メタボリズムの未来都市展』
(分担執筆:新建築社)など。専門は、社会学、都市・建築論。

